行政視察報告書

令和2年　2月20日

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

長浜市議会議員　　竹本直[redacted]

1.視察等名　「企業誘致」「児童生徒の学び方と教職員の働き方改革」について

2.視察期間　　令和２年２月１２・１３日

3.視察場所　　佐賀県鳥栖市・多久市

4.調査内容感想等

○鳥栖市は地震が少なく交通の便もよく、九州の東西南北に連結する地理的条件の優位性が高いなど工場立地に適している。昭和30年ごろまでは石炭産業に依存していたが、衰退と共に町自体も衰退してきたが、労働力を維持するためいち早く県との連携を密にし、企業誘致に力を注いできた。６つの工業団地の整備、さらに22haの工業団地の整備に取り掛かられています。その結果昼間の人口は81235人、常駐人口の72902人を大きく上回っています。令和17年には82000人まで鳥栖市の人口は増える予想です。鳥栖市は県の企業立地課に職員を派遣し、研修会や企業訪問など積極的な取り組みをなされていますが、このようなことが大きな原動力になっています。また企業が市外に撤退しないよう相談窓口も開かれています。市の助成なども長浜市と変わりなく市の取り組みの姿勢違いだけと痛感しました。

長浜市も交通手段もよく、面積においては10倍もの面積を有しているのに積極的な働きかけが弱いと感じました。新たな工業団地の整備が人口減少や財政難の克服に繋がると確信しています。ぜひ早急に取り組む課題であると提言いたします。

○多久市の児童生徒の学び方と教職員の働き方改革プロジェクトについては、これも長浜市によく似ていて全国学力テストの正答率が全国よりも下回り、自己肯定感が低いなど授業の改善が求められています。また教職員のメンタルダウンの0人の維持、月の残業時間80時間超えを0人を目標に取り組まれているところです。全国ICT教育首長協議会の参加をきっかけに総務省先導的教育システム実証事業に参加、ソフトバンク・日本マイクロソフトとの産官協業、低価格端末とクラウド利用による経費、残業削減など知恵の結集により成果が見えてきた。

学び方の改善　1協働学習の拡充　2教材等の共有化　3業務の効率化

働き方の成果　1フルクラウドでいつでも最先端　2文科省、総務省のセキュリティー

ポリシーガイドライン対応　3時間外勤務が減少　4テレワークで働き方に幅

などの成果が上がってきている。長浜市においても早急なICTの環境整備が必要であると痛感した。